

文化財関連については、旧中山小
学校体育館保管民具の調査及び活用
について検討し、郷土史料館整備に
向けた整備構想を策定します。

新図書館については、本や文具の
販売コーナーの設置や図書館システ
ムの整備に合わせた読書通帳システ
ムの導入などにより、魅力ある図書
館づくりを進めていきます。

生涯スポーツでは、東京オリン
ピック・パラリンピックのホストタ
ウン登録を契機に、中国を相手国と
したソフトボール競技での合宿等の
誘致や国内外スポーツ選手との交流
を通じた、スポーツ、教育、文化、
経済の交流発展を目指します。

施策の柱「雇用・産業」

農業の振興

町農業再生協議
会においては、
組織の見直しを
行いながら、「人・農地プラン」の
話し合いをベースとした担い手への
農地集積を推進するとともに、将来
の地域農業の担い手確保と育成支援
などに努めます。

農業委員会においては、農地制度
の適切な運用を図りつつ、農地利用
の最適化の推進に向けて引き続き取
り組んでいきます。

土地改良事業では、新規に御影地
区ため池の整備に着手するなど、農
業経営の安定化と効率化を支援して
いきます。また、引き続き日本型直
接支払交付金事業を活用し、農村集
落の多面的機能の維持・確保と耕作
放棄地の発生防止を図ります。

森林・林業の再生

地域林政アドバ
イザーを引き続
き配置しなが
ら、町森林・林業再生協議会を中心
に森林の境界明確化事業を進めると
ともに、新たに創設された「森林環
境譲与税」や国県事業を活用し、森
林整備や再造林後の保育に対する支
援を行っていきます。

また、保全すべき松林での松く
い虫防除を継続して実施するとと
もに、近年被害が増大している有害
鳥獣の対策については、被害の未然
防止につながる電気柵の導入の支援
や、狩猟免許の取得に係る費用の支
援を行います。

地域産業の振興

地域産業の活性
化と雇用の場の
創出を目指し、

引き続き企業立地及び設備投資に伴
う雇用の創出を促進するとともに、
受注拡大に向けた取組を拡充し新た
な展開を図ります。また、中小企業
における技術の高度化や技能取得の

ための取組を促しつつ、意欲ある小
規模事業者の経営改善を後押しし、
販路開拓や設備投資を支援します。

商業では、買い物環境の支援対策
について、実証実験の検証のもと有
効な事業を展開しつつ、買い物困難
地域の解消や高齢者等の買い物利
便性向上を検討していきます。また、
町内商店が行う販売促進の取組に対
する支援や、町産材等を使用する木
造建築への支援の継続実施により、
経済の活性化と町産材の利用促進に
取り組んでいきます。

観光については、これまでの事業
成果を検証しながら、新たな計画を
策定していきます。また、「日本の
紅（あか）をつくる町」については、
紅花生産日本一の町としての知名度
をさらに高めるとともに、紅餅の「生
産量増加」と「品質向上」にこだわ
りながら「観光」と「生産」の両面
を推進していきます。

産業の連携については、農産物や
資源等を活用する6次産業化の取組
を段階的に支援するとともに、今後
の施策の方向性について検討してい
きます。

環境保全

エネルギー施策

環境保全の取組
は、環境保全活
動、環境教育、
環境情報提供などに携わる団体や事

平成31年度 施政方針と予算



平成31年度予算は、持続可能で健全な財政運営の確保を念頭に、行財政改革を緩めることなく町政運営を行うこととし、まちづくりの将来像の実現の総仕上げと地方創生や置賜定住自立圏構想の推進に向けた取り組みを確実に実行していく観点から編成しました。

具体的な施策については、引き続き第5次白鷹町総合計画後期基本計画に掲げている人材育成をベースに、「子育て・教育」「雇用・産業」「地域」「防災」の4つの柱を重点として各種計画等と連動し、PDCA サイクルにより効果的に事業を進めつつ、新たな総合計画の基本計画を町民の皆様と共に創り上げていきます。

本年度は町誕生 65 周年の年でもあります。先人の皆様の努力に改めて心より敬意を表すとともに、次世代にしっかりと引き継ぐための新たな一歩を、町民の皆様と共に確実に刻んでいきます。

施策の柱 「子育て・教育」

子育てしやすい環境づくり
保育サービス面では、需要が拡大している乳児

保育に関して、町内の保育園及びこども園全園において0歳児からの保育を実施します。

また、10月から実施予定の幼児教育無償化については、現在の町単独での第3子以降の保育料無料化との調整を図り、対象世帯の負担が増加することのないような必要な対応を行っていきます。さらに、高校生年齢までの医療費の自己負担を無料にする「しらたか元気っ子事業」や、

子育て支援として指定ごみ袋引換券の配布などを継続して実施し、子育てしやすい環境づくりに努めます。

母子保健事業では、新たに母子手帳アプリを導入し、子育て情報の配信や予防接種管理などのサービスをを行うほか、不妊治療における費用の一部助成等の継続事業と合わせ、安心して子どもを産み育てることができるよう総合的な支援に努めます。結婚支援については、「結婚新生活支援事業」に引き続き取り組み、新生活スタート時の経済的負担への支援を行います。このほか、婚活サポート委員会を中心とした「婚活サポート事業」による出会いの場の創出等の取り組みを進めていきます。

教育の充実

学校教育においては、学力向上に向けた指導体制を継続するとともに、英語指導助手（ALT）の配置拡充による英語教育の充実を図ります。さらにICT支援員による授業をモデル的に実施しつつ、小中学校パソコン教室のICT機器の更新に取り組み、主体的・対話的で深い学びの視点に立った教育を目指します。

白鷹人の育成

荒砥高等学校に
対し、「魅力あ
る学校づくり」
に向けて、引き続き新入生応援事業や介護職員初任者研修、教育支援員の配置、部活動支援等に取り組んでいきます。また、白鷹高等専修学校についても、教育体制の充実に向け、置賜管内各市町と連携した支援を継続していきます。

生涯学習・芸術文化面では、家庭、地域と学校の連携及び協働体制をさらに充実するために、地域コーディネーターを増員する対応を図っています。また、開館10周年を迎える文化交流センター「あゆむ」について、記念事業を実施しつつ、所蔵する絵画の作者の一人である梅津五郎画伯の生誕100周年記念事業開催に向けて支援をしていきます。